
医療・介護連携と市役所の役割

健康寿命の延伸に向けて

作成 保健衛生総務課

2017年5月31日
第1回政策改革本部会議資料

健康政策室のこれまでの取り組み

平成28年度、国保・後期高齢・協会けんぽの健診データを中心に各区、中学校区単位で分析

現場の意見

各区ヒアリング

市民の意見

地域ミーティング

専門家の意見

カンファレンス(勉強会)

平成29年3月 **健康寿命延伸計画[アクションプラン]策定**

地域健康度の「見える化」データと地域の健康課題解決に向けた取り組みを掲載

平成29年は「**健康寿命の延伸元年**」

今年度の主な取り組みと目標設定

今年度の**主な取り組み**

- データから見えた地域の健康課題を市民と共有
 - 5月～6月 まちづくりトークで「健康寿命の延伸に向けた取り組み」を説明
 - 6月～7月 各区自治協議会で説明
- データのクロス集計等の分析を進めるとともに、専門家や民間団体を交えたカンファレンス（勉強会）を実施
- 商工会議所や協会けんぽなどの民間団体と連携した取り組みを検討・実施

健康寿命延伸計画の**3つの目標**（短期的）

指標	現状値	目標値
特定健診受診率 (法定報告値(速報値)国民健康保険)	34.7% (H27年度)	60% (H29年度)
減塩を意識しているし、 できている人の割合	10.4% (H28年度)	30%以上 (H30年度)
1日60分くらい体を動かす 生活を実践している者の割合	男性25.6% (H28年度) 女性21.1% (H28年度)	40%以上 (H30年度)

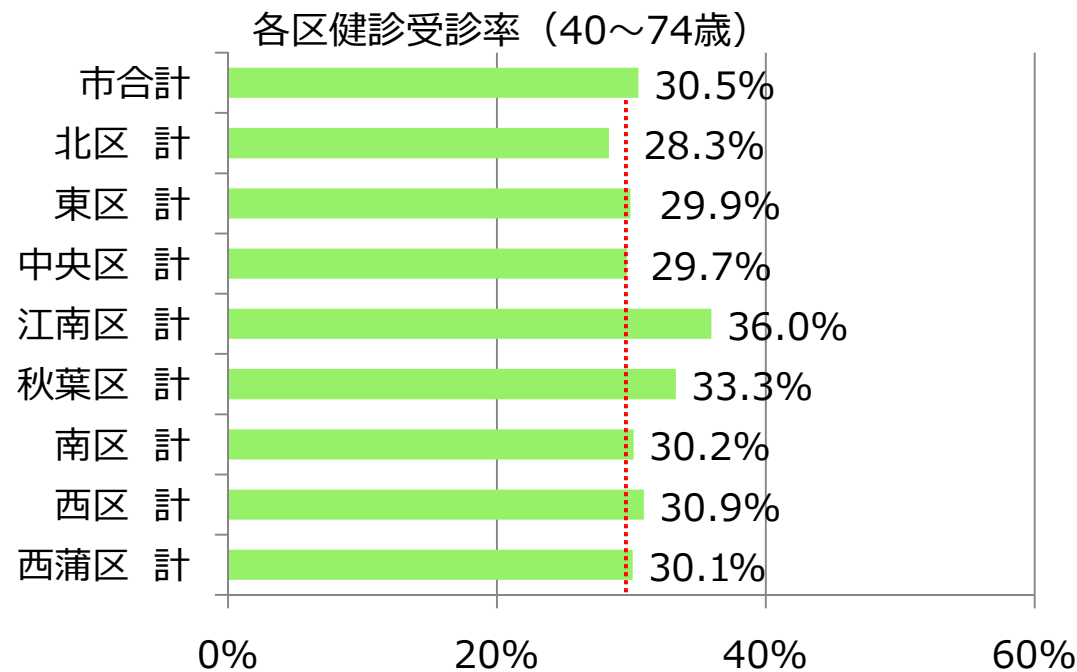
- 今年度、**中期的目標**を仮設定
平成31年度からの次期「健康づくり推進基本計画」に反映

特定健診受診率の目標設定

- 生活習慣病等の早期発見・早期治療のためには特定健診受診率を上げることが重要

平成27年度特定健診受診率（国保法定報告値（速報値）） 34.7%
平成29年度特定健診受診率 目標値（国基準と同数値） 60.0%

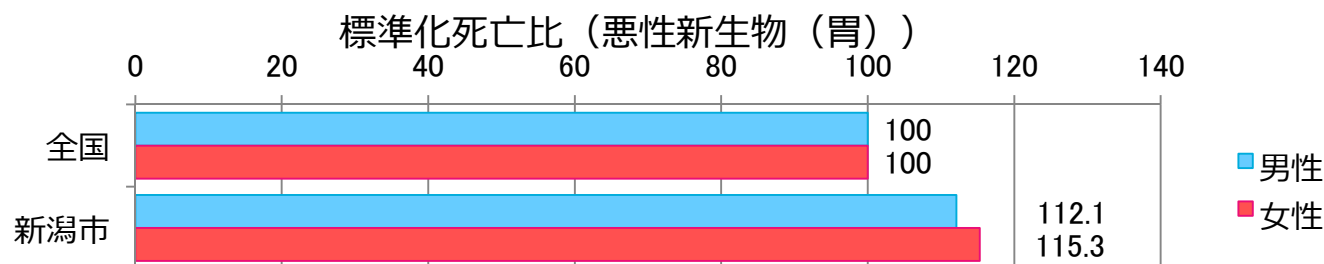
健診受診率データ（H26年度 国民健康保険※） [保健衛生総務課分析データ]



※健診対象者は、平成26年度に1回でも被保険者になった人数の累計であり、健診対象者及び受診者には、65歳から74歳までの者で一定の障がいがあり後期高齢者医療保険に加入申請し認定された者を含むため、国民健康保険の法定報告値とは異なる。

ピロリ菌検査受診者の増加に向けた取り組み

新潟市は、胃がんの標準化死亡比が全国に比べ高い



ピロリ菌感染→萎縮性胃炎→胃がんのリスク上昇

平成28年度からピロリ菌検査を実施

（対象者：40・45・50・55歳の特定健診(国保)または胃内視鏡検査受診者）

28年度実績

対象者 23,891人 受診者 1,573人（受診率 6.6%）
陽性者 322人（陽性率 20.5%）

29年度目標 ピロリ菌検査受診者 2,000人へ

7月⇒全員に再勧奨，12月⇒未受診者に再々勧奨を実施

受診を促すリーフレットと陽性者に除菌を促すリーフレット作成、主治医からの指導徹底

今後の展開

ピロリ菌検査を特定健診・胃がん検診の目玉として、マスコミを活用して広報
→特定健診・胃がん検診・ピロリ菌検査受診率向上の相乗効果

※ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）とは：胃にとりついて炎症を起こす細菌で、胃がんの危険因子とされている。特に50歳以上の人で感染率が高いとされ、主に幼少期に口から感染すると考えられている。上下水道の整備が不十分で衛生状態のあまり良くない時代に育った方の感染が多いといわれている。

健康寿命延伸に向けた新たな取り組み①

地域版にいがた未来ポイント

健康寿命の延伸に向け、地域の健康課題に応じた地域コミュニティ協議会の主体的な健康づくり活動を支援

1活動あたり5,000ポイント
参加者数による加算 上限10,000ポイント
優れた活動に20,000ポイント加算

健康寿命延伸アワード

健康寿命の延伸や健康増進を目的とした地域コミュニティ協議会、企業、団体などの優れた取り組みを表彰（コミ協部門、一般部門あり）

グランプリ 100,000ポイント … 1団体
準グランプリ 50,000ポイント … 2団体

※地域版にいがた未来ポイント、健康寿命延伸アワードともに、
1ポイント1円として、1,000ポイント単位で、年度末に市共通商品券と交換

もの忘れ検診（北区）

認知症早期発見のため、特定健診を受診する65歳以上の希望者に3項目の簡単な聞き取り調査を実施

健幸すまいリフォーム助成事業（拡充）

健康寿命延伸の効果があるといわれる温熱環境の改善リフォームを支援 など

健康寿命延伸に向けた新たな取り組み②

各区における健康寿命の延伸に向けた取り組み

- 北区**
- 生活習慣病予防講座の開催
 - 健診受診率向上

- 東区**
- 「区内健康寿命延伸プロジェクト」の立ち上げ
 - 健診未受診者の生活実態調査
 - 生活習慣改善モニター
 - 地域の茶の間での健康づくり運動実施・継続の支援
 - ヘルシーレシピコンテスト

- 中央区**
- 健診の受診率向上
 - ヘルシー糖尿病ランチコンテストと飲食店での提供
 - ヘルシー糖尿病ランチ付健康教室の開催
 - 区役所内でプロジェクト立ち上げ

- 江南区**
- 健診受診率向上
 - 個別調査の実施
 - 地域の茶の間で多職種による健康教育
 - ミニドック型集団健診、ふれあい・ささえあい交流事業での健康・栄養コーナー実施

- 秋葉区**
- 健康レストランプロジェクト
 - 糖尿病予防キャンペーンの実施
 - モデル地区での受診率向上
 - フレイル予防講演会の開催
 - 子どもと保護者への啓発

- 南区**
- はかろう体重！大作戦
 - コミ協連携事業
 - 漫画を活用したリーフレット作成
 - 未受診者訪問・電話勧奨

- 西区**
- ハイリスク者健康相談事業・動脈硬化予防教室
 - 禁煙啓発事業
 - 高血圧対策事業
 - モデル地区健診未受診者対策

- 西蒲区**
- 健診受診率の向上
 - 健診後のフォローの充実

※この他にも特色ある区づくり事業等の取り組みあり

健康寿命延伸のための保健師のあり方検討

保健師は、

妊婦・乳幼児から高齢者までを対象とした、これまでの活動を維持しつつ、健康寿命延伸に向けて、地域全体の健康度向上のための活動を進める

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、

自ら健康の維持増進のための行動をとり、

生活習慣病の発症および悪化を防ぐことができる

- ①よりよい生活習慣を身に付ける
- ②毎年健診を受ける
- ③必要な医療につき、受診、服薬を継続する

健康寿命延伸に向けた新たな取り組みを展開するために、

保健師業務の見直しを検討中

(一部委託、事務的業務の整理、業務体制の検討など)